

# 女性特有の健康課題や不妊治療と仕事の両立支援事業 【福岡県福岡市】

個別事業費	6,450 千円
交付金額	3,189 千円

### 地域の実情と課題

**【実情】**

- ・25～44歳の女性の有業率は74.2%（全国平均76.1%）
- ・35～39歳女性の就業率は70.2%（潜在的就業率は91.5%）
- ・企業における女性管理職比率（役員除く）は11.3%

**【課題】**

主に中小企業に対し、労働環境の改善などをテーマにセミナー等を開催し、企業における女性活躍推進を啓発する必要がある。

### 目的・目標

**【目的】**

企業における女性特有の健康課題や不妊治療と仕事の両立を支援することで、働く場における女性の活躍を推進する。

**【目標】**

- ・参加者数 目標:50人
- ・満足度 目標:90%

### 事業の特徴

「福岡市健康課題等と仕事の両立に関する事業所等実態調査」（R4年度実施）をもとに、女性特有の健康課題や不妊治療と仕事の両立を支援するため、企業で取り組む必要性や先進的企業の取組紹介などを行うセミナーを開催した。

また、企業における両立支援の取組みや、女性のヘルスリテラシー向上に役立つミニブックを作成し、市内企業へ周知を行った。

### 連携団体

福岡県  
福岡商工会議所  
福岡市女性活躍推進会議の構成団体  
福岡労働局  
九州経済産業局

など

### 事業の効果

市内経済団体や関わりのある企業を通して、広く周知を行い、目標を超える参加者数となった。国の推進担当者や大企業のダイバーシティ推進担当者、中小企業の経営者など、様々な視点からディスカッションを行い、満足度の高い事業となった。

- ・参加者数 目標:50人→実績:66人
- ・満足度 目標:90%→実績:98.3%

### 今後の課題

企業における女性特有の健康課題等への理解促進及びヘルスリテラシーの向上に繋げるため、取組みを支援していくとともに、取組の効果検証結果を発信することで、企業の取組を促進していく必要がある。

## 事業の概要

「福岡市健康課題等と仕事の両立に関する事業所等実態調査」(R4年度実施)をもとに、女性特有の健康課題や不妊治療と仕事の両立を支援するため、企業で取り組む必要性や先進的企業の取組紹介などを行うセミナーを開催した。  
また、企業における両立支援の取組みや、女性のヘルスリテラシー向上に役立つミニブックを作成し、市内企業へ周知を行った。

### 【セミナー】

- ◇テーマ  
健康課題と仕事の両立スタートアップセミナー
- ◇日程  
令和6年3月1日 14時～15時45分
- ◇参加者  
66名
- ◇内容
  - ・パネルディスカッション  
「なぜ、組織で健康課題への取組みが必要なのか？」
  - ・生理痛体験
  - ・情報提供(ブース出展)  
フェムテック企業(9社)、国(経済産業省、労働局)、福岡市(検診情報等)



### 【ミニブックの作成】

企業の人事等担当者を交え、作成に向けた検討会を2回実施し、健康課題等と仕事の両立について、現状・課題・対応策の3つを知ることができる、企業向けのミニブックを作成し、市内企業への周知を行った。  
(令和6年2月完成)

